

「高齢者の健康に関する調査」

平成 30 年 3 月

内閣府政策統括官（共生社会政策担当）

目 次

第1章 調査の目的及び方法等

1. 調査の目的	1
(1) 調査の目的	1
2. 調査の仕様	1
(1) 調査地域	1
(2) 調査対象者	1
(3) 標本数	1
(4) 調査事項	1
(5) 調査方法	1
(6) 調査期間	1
(7) サンプルング方法	2
(8) 有効回収数	2
(9) 調査委託機関	3
(10) 企画分析委員会	3
(11) 本報告書を読む際の留意点	4
3. 調査対象者の基本属性	5
(1) 性別 (F 1)	5
(2) 年齢 (F 2)	5
(3) 未既婚 (事実婚を含む) (F 3)	6
(4) 同居者 (F 4)	7
(5) 別居の子の有無 (F 5)	8
(6) 最終学歴 (中退を含む) (F 6)	9
(7) 収入 (F 7)	10

第2章 調査結果の概要

1. 日常生活に関する事項	11
(1) 現在の健康状態 (Q 1)	11
(2) 健康上の問題による日常生活への影響 (Q 2)	13
(3) 特に難しいと感じる活動 (Q 3)	15
(3-1) 特に難しいと感じる活動での困難の程度 (Q 3-1)	18
(4) 外出の頻度 (Q 4)	29
(5) 普段の親しい友人・仲間 (Q 5)	31
(6) 別居の子供との連絡 (Q 6)	33
(7) 家族や友人との会話 (Q 7)	35
(8) 日常生活への満足度 (Q 8)	37
2. 医療・福祉に関する事項	39
(1) 日頃心がけている健康活動 (Q 9)	39
(1-1) 健康活動を心がけはじめた年代 (Q 9-1)	42
(2) 日頃の身体を動かすこと (Q10)	54
(3) 日頃の医療サービスの利用頻度 (Q11)	57
(4) 「医療サービス」利用時の移動手段 (Q12)	59

(5) 「医療サービス」を利用する病気・症状 (Q13)	61
(6) 介護状態を仮定した場合の不安項目 (Q14)	66
(7) 必要になった場合の介護を依頼したい人 (Q15)	69
(8) 必要になった場合の介護費用 (Q16)	71
(9) 医療や健康情報のインターネットでの入手 (Q17)	73
(10) インターネット情報と実際の行動 (Q18)	75
(11) 自身の健康情報 (歩数や血圧、体重など) の測定と管理 (Q19)	77
3. 就労状況や社会的な活動に関する事項	79
(1) 収入のある仕事への就業状況 (Q20)	79
(2) 収入のある仕事の勤務形態 (Q21)	81
(3) 収入のある仕事をする理由 (Q22)	85
(4) 退職希望年齢までの希望就業形態 (Q23)	87
(4-1) 退職希望年齢までの希望勤務時間 (Q23)	88
(5) 収入のある仕事の職種 (Q24)	100
(6) 収入のある仕事をしていない人の退職年齢 (Q25)	103
(7) 収入のある仕事をしていない理由 (Q26)	105
(8) 現在行っている社会的な活動 (Q27)	107
(9) 現在行っている活動の報酬 (Q28)	109
(10) 社会的な活動をしていない理由 (Q29)	111
(11) 現在の生きがいを感じる度合い (Q30)	113

第3章 調査結果の解説 (執筆者 50 音順に掲載)

- ・現在の健康状態と40歳代以前からの健康維持・向上に関わる取り組み (佐藤博樹) …… 115
- ・「ネットを介したヘルスリサーチを行う高齢者の実際の健康行動」 (澤岡詩野) …… 122
- ・健康関連指標からみた高齢単身世帯の主観的健康についての考察
 - 内閣府「高齢者の健康に関する調査」に基づく分析— (藤森克彦) …… 125
- ・高齢者の健康に関する調査 高齢者 (中高年者) の就業状況とその特徴 (安村誠司) …… 133

第4章 集計結果

調査票 (単純集計結果付)	139
クロス集計表	151